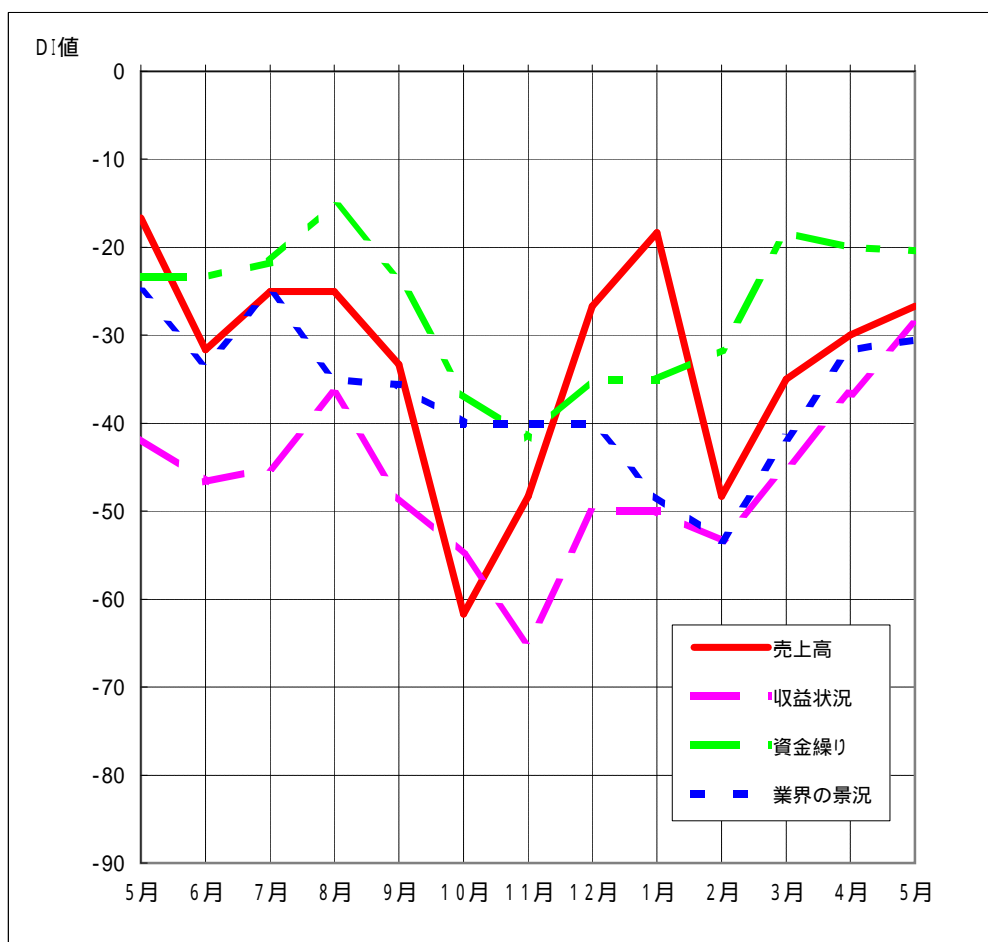


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成16年5月～平成17年5月

単位:ポイント



	h16					h17							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	-17	-31.7	-25.0	-25.0	-33.3	-61.7	-48.3	-26.7	-18.3	-48.3	-35.0	-30.0	-26.7
収益状況	-42	-46.7	-45.0	-36.7	-48.3	-55.0	-65.0	-50.0	-50.0	-53.3	-45.0	-36.7	-28.8
資金繰り	-23	-23.3	-21.7	-15.0	-23.3	-36.7	-41.7	-35.0	-35.0	-31.7	-18.3	-20.0	-20.3
業界の景況	-25	-33.3	-25.0	-35.0	-35.6	-40.0	-40.0	-40.0	-48.3	-53.3	-41.7	-31.7	-30.5

5月のDI値をみると、前年同月より「収益状況」DI、「資金繰り」DIで好転し、「売上高」DI、及び「景況」DIで悪化した。「売上高」DIは前年同月より10.0ポイント悪化し、マイナス20%台に推移した。「収益状況」DIにおいては、12.9ポイント改善し、マイナス20%台に推移。「資金繰り」DIは、3.0ポイント改善し、マイナス20%台を継続中。「景況」DIは5.5ポイント悪化し、マイナス30%台に推移した。ここ3ヶ月の傾向値をみると中小企業の業況は、「資金繰り」DIを除いた上記3科目のDI値で小幅ながらポイントを高くしているが、際立った回復感に乏しく低調に推移している。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、景気の回復は感じられなく、原材料高騰と受注減少等厳しい状況との報告が多い。だが、「木材・木製品」の一部で、震災復興のための受注が増えているとする報告もある。また全体的に非製造業においても、製造業同様、景気の回復は感じられないとする報告が多かった。だが、「卸売業」、「サービス業」の一部で需要増の明るい報告があった。

総体的に中小企業は、景気の回復感を感じられず、需要低迷、原材料費高騰等厳しい現況であることが窺われる。